

施策名	目標3-6 東日本大震災への対応(環境モニタリング調査)					
施策の概要	被災地周辺の基礎的な情報等を的確に把握、提供するための環境モニタリング調査等を実施する。また、アスベストの大気濃度調査を踏まえ、更なるアスベストの飛散・ばく露防止対策を推進する。					
達成すべき目標	被災地周辺の環境に関する基礎的な情報等を的確に把握し、情報を国民に提供することで、国民の不安解消と復旧復興に					
施策の予算額・執行額等	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)	-	-	-	1,402,360
	補正予算(b)	-	-	588,657		
	繰り越し等(c)	-	-	-129,850		※23年度予算
	合計(a+b+c)	-	-	(※記入は任意)		2次補正文科省移替
執行額(千円)	-	-	(※記入は任意)		予算額:442,277	
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)						

測定指標	1 アスベスト大気濃度暫定基準値(10[f/l])達成率(%)	基準値	実績値					目標値
		年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	年度
		-	-	-	-	99.2	100	
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	
2 東日本大震災の被災地における大気汚染に係る環境基準等達成率(%)	施策の進捗状況(実績)						目標	
	「別紙のとおり」						年度	
							100	

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<p>○東日本大震災の被災地において、常時監視対象物質(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び一酸化炭素)、ダイオキシン類及び有害大気汚染物質(優先取組物質)の大気環境モニタリング調査を実施したところ、前期調査では30地点のうち1地点でヒ素及びその化合物の指針値を超えたが、後期調査では前期調査でヒ素の指針値を超えた地点を含む37地点のうち環境基準又は指針値を超えた地点はなかった。</p> <p>○東日本大震災の被災地周辺において、水環境における有害物質等による環境汚染の有無・程度等について、緊急的に公共用水域及び地下水の水質モニタリング調査を実施した。</p> <p>○東日本大震災の被災海域において、環境汚染の人の健康への2次被害の防止や被災地の生活環境に対する住民不安の解消に努めるため、水質等のモニタリング調査を実施した。</p> <p>○東日本大震災の被災地周辺において水環境(河川、湖沼・水源地、海域、地下水)における放射性物質のモニタリングを実施した。</p> <p>○洋上漂流物については、その漂流経路等に係るシミュレーションを実施し、関係国等へ適切な情報提供を行った。</p> <p>○東日本大震災の被災地での環境大気中のアスベスト濃度について、暫定基準値を99%以上達成している。</p>
	目標期間終了時点の総括	<p>○被災地における大気の大気常時監視対象物質等のモニタリング調査では、ヒ素及びその化合物の指針値を超えた地点が1地点あったものの、当該地点におけるその後の調査ではヒ素の指針値を超過せず、その他の地点でも特に問題は見られなかったため、次年度以降継続して調査を実施する必要はないと判断した。</p> <p>○東日本大震災の被災地において、水質や有害物質のモニタリングを実施し、環境汚染の人の健康への2次被害の防止や被災地の生活環境に対する住民不安を解消に努める必要がある。</p> <p>○水環境中の放射性物質モニタリング調査等の実施により、汚染状況を的確に把握し、情報を国民に提供することで、国民の不安解消に努める必要がある。</p> <p>○洋上漂流物に係るシミュレーションについては、2013年6月までの予測結果しか得られていないことから、さらに長期の予測を行う必要がある。</p> <p>○被災地での環境大気中のアスベスト濃度について、暫定基準値を99%以上達成しており、また得られた結果を公表し、アスベストの飛散、ばく露防止対策にフィードバックする等有効に活用されている。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> 環境大気中のアスベスト濃度測定の結果については、厚生労働省と合同で開催している会議において結果の検証にあたり意見をいただいた。 洋上漂流物について、専門家等を有する京都大学等と請負契約を交わし、漂流予測シミュレーションを行った。
-----------------	---

<p>政策評価を行う過程において 使用した資料その他の情報</p>	<p>環境省報道発表資料 http://www.env.go.jp/jishin/monitoring/result_ae110712.pdf http://www.env.go.jp/jishin/monitoring/result_ae110830.pdf http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=14548 http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15033</p>
---------------------------------------	--

<p>担当部局名</p>	<p>大気環境課 水環境課 海洋環境室 地下水・地盤環境室 環境安全課</p>	<p>作成責任者名</p>	<p>山本 光昭 吉田 延雄 森 高志 宇仁菅 伸介 早水輝好</p>	<p>政策評価実施時期</p>	<p>平成24年6月</p>
--------------	---	---------------	---	-----------------	----------------

東日本大震災の被災地における大気汚染に係る環境基準達成率[%]

ア. 二酸化硫黄	イ. 二酸化窒素	ウ. 浮遊粒子状物質
エ. 一酸化炭素	オ. ベンゼン	カ. トリクロロエチレン
キ. テトラクロロエチレン	ク. ジクロロメタン	ケ. アクリロニトリル
コ. 塩化ビニルモノマー	サ. クロロホルム	シ. 1,2-ジクロロエタン
ス. 水銀及びその化合物	セ. ニッケル化合物	ソ. ヒ素及びその化合物
タ. 1,3-ブタジエン	チ. アセトアルデヒド	ツ. 塩化メチル
テ. クロム及びその化合物	ト. 酸化エチレン	ナ. トルエン
ニ. ベリリウム及びその化合物	ヌ. ベンゾ[a]ピレン	ネ. ホルムアルデヒド
ノ. マンガン及びその化合物	ハ. ダイオキシン類	

年度	H23 年度	H23 年度	目標年	目標値
	前期調査	後期調査		
ア	100	100	-	100
イ	100	100	-	100
ウ	100	100	-	100
エ	100	100	-	100
オ	100	100	-	100
カ	100	100	-	100
キ	100	100	-	100
ク	100	100	-	100
ケ	100	100	-	100
コ	100	100	-	100
サ	100	100	-	100
シ	100	100	-	100
ス	100	100	-	100
セ	100	100	-	100
ソ	96.7	100	-	100
タ	100	100	-	100
チ	100	100	-	100
ツ	100	100	-	100
テ	100	100	-	100
ト	100	100	-	100
ナ	100	100	-	100
ニ	100	100	-	100
ヌ	100	100	-	100
ネ	100	100	-	100
ノ	100	100	-	100
ハ	100	100	-	100